平成 31 年 1 月 7 日
平成 30 年度第 2 回瑞浪市地域公共交通会議

瑞浪市地域公共交通総合連携計画の具体的事業の整理について

1. 概要

現行の計画は、平成 26 年度から平成 35 年度までの 10 年間を計画期間とし、中間年である平成 30 年度に具体的事業の整理を行う。

2. 整理の内容（主なもの）

別添「地域公共交通総合連携計画（「5 具体的な事業」のみ抜粋）」P 62 参照。

- ・「①瑞浪市コミュニティバスの再編」の「再編」を「運行内容見直し」に改め、「フリー乗降区間の設置」を削除する。
理由：デマンド交通において、中山間地域におけるフリー乗降区間を設置した。
コミュニティバスは従来どおり定時定路線とする。
- ・「②瑞浪市デマンド交通の運行内容見直し」を新たに項目立てする。
理由：デマンド交通を平成 28 年 10 月から導入したため、具体的事業に明示する。
- ・「⑤地域との協働による運賃制度の導入」を削除する。
理由：「地域との協働による運賃制度の導入」の内容は「⑤地域ぐるみによる仕組みづくり」の中に組み込む。
- ・「⑥一般市民を対象とした利用促進活動の実施」に「高齢者の運転免許証自主返納奨励による公共交通機関の利用促進」を加える。
理由：平成 30 年 1 月に運転免許証自主返納支援制度を創設したため。
- ・「⑦企業等との連携による利用促進活動の実施」の「企業等」を「各種団体」に改め、「商業施設、公共施設と連携した割引サービス」を削除する。
理由：公共交通を利用したことを証する方法の確立が困難であるため。
- ・「⑦各種団体との連携による利用促進活動の実施」に「自治会等による公共交通利用促進」、「観光施設等における公共交通アクセスの表示」等を加える。
理由：国土交通省が公共交通の観光利用による有効活用を推進しており、観光施設と連携した観光利用の推進を具体的事業に明示する。
- ・「⑧公共交通情報等の提供」を削除する。
理由：「公共交通情報等の提供」の内容は「③公共交通機関相互の連携強化」や「⑤一般市民を対象とした利用促進活動の実施」の項目の中に組み込む。
- ・「⑧スクールバスの有効活用」について、概要の記述を改める。
理由：中学校統合により、コミュニティバスの朝夕の通学対応便は小学生に限られる。
- ・目標値の設定